

2026年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）
工業専門課程 デジタルクリエイター科	2	デッサンII
授業の種類	授業担当者	実務経験
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	新沢靖雄	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

[実務経験歴]

少年マガジン、ヤングマガジンで佳作等受賞。
週刊少年サンデー（小学館）、マガジンFRESH（講談社）に作品掲載、通算掲載数5本。
企業広告イラスト、企業広告漫画（ウェブ、紙媒体）多数。（Panasonic、ダスキン、DAIKEN、ZePlusなど）

単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
4 単位 (60 回)	120 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択

[授業の目的・ねらい]

主に広告デザイン関連のトレーニング。実務を前提とした課題を設定して、要求に応える創作能力を養う。あるいは卒業制作、ポートフォリオ作成のサポート。

[授業全体の内容の概要]

主に広告作成等の課題を与え、時間内に成果物を提出させる。

[授業終了時の達成課題(到達目標)]

実務を理解し、卒業後に能力を実効性ある形で発揮できることを目指す。

[準備学習の具体的な内容]

授業ごとに前回の作品を批評し、確認する。
課題作成実習中に個別指導を行う。

[使用テキスト]

使用テキスト
なるほどデザイン

参考文献

必要に応じて授業の中で紹介する。

[単位認定の方法及び評価の基準]

定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。
・試験の点数は60点以上を合格点とする。
・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。
評価基準
定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

1回	課題設定と取り組み。
2回	課題設定と取り組み。
3回	課題設定と取り組み。
4回	課題設定と取り組み。
5回	課題設定と取り組み。

6回	課題設定と取り組み。
7回	課題設定と取り組み。
8回	課題設定と取り組み。
9回	課題設定と取り組み。
10回	課題設定と取り組み。
11回	課題設定と取り組み。
12回	課題設定と取り組み。
13回	課題設定と取り組み。
14回	課題設定と取り組み。
15回	まとめと振り返り
16回	課題設定と取り組み。
17回	課題設定と取り組み。
18回	課題設定と取り組み。
19回	課題設定と取り組み。
20回	課題設定と取り組み。
21回	課題設定と取り組み。
22回	課題設定と取り組み。
23回	課題設定と取り組み。
24回	課題設定と取り組み。
25回	課題設定と取り組み。
26回	課題設定と取り組み。
27回	課題設定と取り組み。
28回	課題設定と取り組み。
29回	課題設定と取り組み。
30回	まとめと振り返り
31回	課題制作
32回	課題制作
33回	課題制作
34回	課題制作
35回	課題制作
36回	課題制作
37回	課題制作
38回	課題制作
39回	課題制作
40回	課題制作
41回	課題制作
42回	課題制作
43回	課題制作
44回	課題制作
45回	まとめと振り返り

46回	課題制作
47回	課題制作
48回	課題制作
49回	課題制作
50回	課題制作
51回	課題制作
52回	課題制作
53回	課題制作
54回	課題制作
55回	課題制作
56回	課題制作
57回	課題制作
58回	課題制作
59回	課題制作
60回	まとめと振り返り